

黎明



VOL.46

令和5年11月30日発行
東洋大学校友会
富山県支部だより



東洋大学校友会富山県支部総会 令和5年6月25日 パレプラン高志会館

ごあいさつ



富山県支部長
森川 芳一
(昭和63年法律)

日頃より支部校友の皆さまには、支部活動への参加、運営への協力に厚く御礼申し上げます。今年も会報「黎明 第46号」をお届けできますこと、大変嬉しく思います。

この1年の支部活動は、ようやくコロナ禍の行動制限も緩和され、数年ぶりに気心の知れた皆さんと母校を肴に杯を交わす会は「何ものにも代え難いもの」と改めて認識されたことと存じます。

東洋大学校友会の神田雄一会長は、「新しい時代の魅力ある校友ソサエティの実現」に向けて、ICT活用による活性化に取り組んでおられます。改めて愛校心溢れる卒業生代表組織となるべく、大学との関係改善が図られたと聞きます。今後も円満な運営を願ってやみません。ただ財務の弱体からますます進む組織の脆弱化を危惧します。組織強化に向けての大胆な施策を期待します。

昨年富山県支部では、校友会本部からの支部交付金減少の現状を説明させていただきました。自主財源の確保に向けて支部支援会費協力をお願いをしたところ、多くの皆さまからご厚意を頂きました。会報の発刊などの自主活動の維持と、2027年(令和9年)の支部設立90周年も視野に入れての運営を行っていきたいと思います。

純粋に母校を想う心の集まりが富山県支部です。まだ見ぬ仲間との出会いを切に望んでおります。

令和5年度総会 4年ぶり通常開催

令和5年度総会は6月25日(日)、富山市のパレプラン高志会館で開催し、校友32人が出席しました。森川芳一支部長が開会のあいさつを行い、議事では事業報告、収支報告、監査報告、事業計画、予算の各議案が承認されました。会員からは「黎明を読み甲斐のある内容にしてほしい」「総会の企画を検討して参加者増を図ってほしい」などの要望や意見が寄せられました。続いて伝統工芸士で武蔵川工房会長の武蔵川義則さん(昭和47年経営)が「高岡螺鈿について」と題して講演しました。その後、ゲストを交えて懇親会を行いました。新型「コロナ」の感染症法上の位置付けが5類に移行したことから、4年ぶりにアルコールを提供する通常開催となりました。



演題 「高岡螺鈿のつくり」
講師 武蔵川義則氏(昭和47年経営)

○…螺鈿(らでん)は夜光貝やあわび貝など貝類を彫刻して、漆地や木地などにはめこむ技法。奈良国立博物館の正倉院展で見られる五弦琵琶が、奈良時代に中国から日本に入ってきた二番古い螺鈿が施されたものと言われている。

○…高岡漆器の発生は1609年に前田利長が築城の際、新川郡大場村から移って来た大場庄左衛門によって起こされ

たと言われる。江戸後期の1850年、初代石井勇助によって勇助塗りが確立した。明治維新の少し前に立野太平治が高岡に生まれて、明治に入った1882年に青貝細工を始めたのが高岡螺鈿の始まり。その後、石瀬松次郎が明治末期から青貝中心の細工を始めた。私の祖父・武蔵川達雄は明治後期から石瀬に弟子入りし、工房を創業した。

○…高岡漆器は唐物・青貝細工と言われるが、高岡で始まった要因が二つある。

一つが琉球漆器の影響、もう一つは富山藩二代藩主・前田正甫が京都から招いた青貝師による柚田(そまだ)細工の影響だ。琉球と螺鈿の関わりは1372年に明と国交が開かれ、その後琉球王朝が福建省から帰化人を得た。沖縄でよくとれる夜光貝を使つて青貝細工が始まったと思われる。1458年には足利義政に盆を贈るなど外交の土産として使われていた。1585年には島津義久に進物し、その後島津藩の支配下となる。徳川将軍

にも貢ぎ、豊臣秀吉にも贈つたとされている。

○…高岡と琉球の関わりを調べると、やはり北前船に行き着く。北前船は江戸時代から明治中期にかけて隆盛を極め、物資のみならず人や文化を運んだ。富山を代表する売薬商家の密田家は、船を持ち昆布を松前から薩摩に運んだ。薩摩藩は北海道から運ばれた昆布を、琉球を通じて中国に密貿易し、薬の原料を得た。これによって薩摩藩は財政を立て直し、倒幕と明治維新を果たした。富山売薬薩摩組は裏方で歴史を動かす役割を担った。

○…先代が作った燭台がある。沖繩の浦添市美術館には琉球漆器がたくさん収められているが、高岡のものと同形や絵柄が似ていて驚いた。先代が作った頃は中国風の加飾が珍重され、明治の後期から大正、昭和の初めには盛んに中国の模様



で作られていた。琉球漆器の影響を多分に受けていたと思う。北前船によって琉球の文化が高岡に伝わり、前田正甫が京都から柚田家の技術を富山藩に取り入れたことが、明治になって高岡漆器に影響を与えたことを知ってほしい。



通常開催となり、全員で校歌と懇談の華を歌った

令和5年度東洋大学校友会富山県支部総会・懇親会 出席者 (敬称略)

■校友会石川県支部

増田 和浩(支部長)

■雨水会富山県支部

奥田 裕之(支部長) 亀田 隆夫(次期支部長)

■校友会富山県支部

笹谷 伸雄(S37経済)	杉田 欣次(S44法律)	青山 清寛(S46商)	武蔵川義則(S47経営)
西部 英信(S48社会)	山尾 友一(S49法律)	高井 俊博(S49経営)	本庄 恵子(S52英米文)
吉田 譲(S52経営)	前多 悟(S52経営)	本江 真祐美(S53経営)	中島 康博(S54経済)
宮崎 敦子(S55国文)	松本 修一(S55法律)	伊藤 政博(S59経済)	早崎 浩行(S60商)
橋本 尚(S60土木工)	酒井 宏明(S61土木工)	土肥 豊(S61土木工)	森川 芳一(S63法律)
酒井 正道(S63土木工)	縄井 恵美(H2短大英文)	篠田 公夫(H4国文)	飛 要(H4経営)
清見 昇(H4応用社会)	柴田 清成(H7経済)	金三津貴子(H7年経営)	玉森 陽子(H9経営)
井藤 昌俊(H15法律)	古幡 政博(H20メディア)	小竹 裕貴(H21経済)	廣田 安正(H30健康栄養)

令和4年度 事業報告 (令和4年4月～令和5年3月)

- 4月24日(日) 幹事会(総会準備、役員改選)
☑サンフォルテ
- 6月26日(日) 支部総会・講演会・昼食会(33名参加)
☑高志会館
- 7月10日(日) 雨水会富山県支部総会(2名参加)
☑ANAホテル
- 7月24日(日) 幹事会(総会総括、各部会報告)
☑サンフォルテ
- 8月28日(日) 幹事会(支援会費、支部だより)
☑サンフォルテ
- 9月7日(水) 第67回白山会コンペ(9名参加)
☑太閤山カントリークラブ
- 10月8日(土) 第26回東都大学OB交歓ゴルフ大会(10名参加)
☑富山カントリークラブ
- 10月23日(日) レディース会(10名参加)
☑護国山金胎寺
- 11月16日(水) 新川会懇親会(8名参加)
☑居酒屋源助
- 11月27日(日) 幹事会(新年のつどい、支部だより発送)
☑サンフォルテ
- 1月15日(日) 新年のつどい(19名参加)
☑Big5
- 2月18日(土) 呉西会懇親会(18名参加)
☑高岡マンテンホテルBon
- 2月26日(日) 幹事会(支援会費、総会内容)
☑サンフォルテ
- 3月5日(日) 雨水会富山県支部就職セミナー(2名参加)
☑県民会館

●校友会本部事業への参加

- 5月21日(土) 東洋大学校友会代議員会
書面議決権行使、オンライン会議出席議決権行使
☑雨水会館

令和4年度 決算報告

(令和4年4月～令和5年3月)

【収入】

科 目		決算額
本部 交 付 金	年会費交付金収入	89,000
	終身会費交付金収入	42,000
	新卒者納入会費交付金収入	2,000
	支部総会祝金収入	0
	周年企画補助収入	0
	支部事務費補助収入	20,000
	支部会報発行助成収入	30,000
	ホームページ助成収入	10,000
	総会特別企画補助収入	10,000
	女性参加促進助成収入	10,000
小計①	213,000	
支部 内 収 入	支部総会参加費収入	101,000
	寄付金収入	0
	預金利息収入	0
	雑収入	201,559
	支部支援会費収入	216,298
小計②	518,857	
収入計③=①+②	731,857	

【支出】

科 目		決算額
支部 内 経 費 支 出	支部総会関連費支出	121,982
	支部会報作成費支出	150,700
	支部活動費支出	50,400
	地区活動費支出	11,214
	会議費支出	17,822
	通信費支出	27,870
	印刷費支出	1,582
	事務用品消耗品費支出	1,683
	旅費交通費支出	0
	慶弔費支出	0
	渉外費支出	3,855
	積立金(支部支援会費)	216,298
	雑支出	825
	予備費支出	0
支出計④	604,231	
当期収支差額⑤=③-④	127,626	
前期繰越収支差額⑥	43,336	
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	170,962	

次期繰越収支差額の内訳	現金	普通預金	計
	2,631	168,331	170,962

【別途積立金】

科目	金額	摘要
積立金	1,100,000	定期預金払出し普通預金へ
積立金(支部支援会費)	216,298	令和4年11月作成

新年のつどい3年ぶりに開催 片原一輝さん(富山商)を激励

新型コロナウイルスの影響で開催を見合わせていた「新年のつどい」を1月15日(日)、富山市の我家的厨房Bige5を会場に3年ぶりに開催しました。コロナの第8波が到来していたためゲストを含め21人の参加にとどまりましたが、久しぶりに互いの近況報告を行い、校友の繋がりの大切さを再認識しました。



水上元支部長の発声で乾杯。徐々に近況を語り合いました

つどいのゲストとして、同年4月に本学に進学する富山商業高校3年の片原一輝さんを招待し、激励しました。片原さんは100メートルの自己ベストが10秒46で、2年時には第15回U18陸上大会100メートルで優勝するなど、全国レベルのスピードランターです。あいさつでは「大学生の間に五輪出場を目指します」と力強く意気込みを語りました。

その片原さんが7月16日(日)、富山県総

合運動公園陸上競技場で行われた第76回県民体育大会の成年男子100メートルに出場しました。

予選4組1位、準決勝1組2位で進んだ決勝は10秒48で3位に終わりました。優勝は富山商の先輩でもある福島聖選手(富山銀行)で10秒27でした。大学進学後、初めて地元の大会に出場した片原さんに今大会の評価や近況を尋ねました。



陸上競技部の先輩でもある伊藤前支部長(右)から記念品を贈呈

「きょうのレースを振り返って今シーズン2戦目ですが、春にはアキレス腱を痛めて2週間ほど走れない時期がありました。きょうはけがをせず3本しっかり走り切れたので良かったと思います。欲を言えば1位を取りたかったのですが、大学生活も始まったばかりで自分の力が届いていないことは分かっていました。」



県体のレース後、質問に答える片原さん。大学進学から3カ月が経ち、精悍さが増した

「東洋大学陸上競技部に入学して3カ月あまり

自信を持って入学したのですが、今の短距離部門はものすごくレベルが高くて驚くことばかりです。2日前にアジア選手権を制した2年の柳田(大輝)さんの記録は10秒02です。コーチや先輩たちのアドバイスをうまく自分の成長に取り入れていきたいです。

「普段の生活は

寮生活は快適で楽しくやっています。練習は午前に授業がある日は午後4時から、午後の授業の日は午前9時からで1日2〜3時間です。

「富山に戻ったのはいつ以来

3月下旬の入寮以来です。おととい帰って来てトレーナーに身体を診てもらって、中学



県体成年男子100メートル決勝。片原さん(左)は福島選手に及ばず3位

「富山県の校友にメッセージを先輩たちが「片原は東洋大の後輩だ」と

自信を持って紹介できるような選手になりたいです。これからも応援、よろしくお願います。

県体後の片原さん

8月に山梨県で行われた第16回岩壁杯対校陸上競技選手権大会や、9月に神奈川県で行われた第34回関東学生新人陸上競技選手権大会兼関東学生リレー競技会などに出場し、実戦を積み重ねています。アキレス腱を痛めて出遅れた初年度でしたが、2024年の巻き返しを校友会富山県支部一同、期待しています。

片原さんはじめ短距離部門の最新情報はこちら



東洋大学陸上競技部短距離部門
https://twitter.com/toyo_tf

南水会と校友会 交流進む 大西兄妹がダンス指導

在学生の保護者でつくる東洋大学南水会富山県支部の定期総会は7月8日(土)、富山市の婦中ふれあい館で開かれました。会員ら約30人が出席し、事業や予算などの議案を承認しました。役員改選では奥田裕之支部長の後任に亀田隆夫氏が就任しました。校友会からは来賓として森川芳二支部長と清見昇事務局長が出席しました。

記念行事として、南砺市出身のダンススポーツ兄妹ペア、大西大晶(ひろあき)さん(令和4年健康スポーツ)と咲菜(さきな)さん(東洋学園大学4年)を講師に招いたダンス交流会と懇親会が開かれました。会員らは2人からステップの基本を学んだほか実演も見学し、国内トップレベルのダンスの優雅さと迫力に魅了されました。

大西兄妹に聞く

―両親が全日本チャンピオン。2人が競技を始めたのは

大晶 競技会に出たのは僕が小学1年生で6歳、咲菜が3歳の頃ですね。家にダンススタジオがあったので、朝から練習して学校に行つて、帰つて来たらまた練習という繰り返しでしたね。

―学校での部活動は

大晶 ダンス部は無いので福野中時代はバドミントン部でした。砺波高校ではESS部に入って英語を勉強していました。

咲菜 中学ではなぎなた部でした。ダンスは海外に行くことが多いので、日本らしいことを学んでおこうと思ひ、南砺福光高校では茶道部に入りました。ダンスをやつて姿勢が良かったので、どちらの部でもほめられました(笑)。

―大学を選んだ理由は

大晶 競技にも生かせるようにスポーツを学問として学ぼうと思ひ、東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科に入学しました。キャンパスは朝霞でした。

咲菜 英語のテレビ番組で知った大西泰斗先生が教授を務めている東洋学園大学(東京・文京区)を選びました。今は4年で卒論も書きましたが、しっかり五輪の競技に採用された

大晶 「スタンダード&ラテン」もいづれ五輪種目になってほしいです。夢がすごく広がりますし、次の世代の子たちの目標ができればと思います。

―富山県の東洋大学卒業生に伝えたいことは

大晶 日本代表として世界選手権などでメダルを取れるように頑張つていきますので応援してください。YouTubeでは頻りに動画を出しています。

―ダンススポーツの魅力は

大晶 スタンダードとラテンの10種目あるのが魅力です。音楽も三拍子や四拍子、アップテンポなどいろんな曲に合わせて踊ります。それを2人で息を合わせて一緒に踊るのが面白さだと思います。

咲菜 女性の衣装やメイクはすごく綺麗なのを見て楽しめれます。ダンスを披露している時に、お客さんと一緒に踊っているような感覚になれるのが魅力です。

―兄妹でペアを組むメリットは

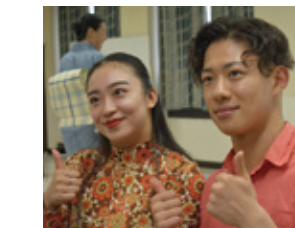
咲菜 良いことも悪いことも全部言えることです。あとは小さい頃から一緒にペアを組んで習ってきたことも全部一緒なので、意見が割れることがないです。

大晶 僕はマイベイスなので、咲菜が注文付けたら文句を言ったりしても、あまり気にしなないです。そもそも話を聞いていないのかもしれないね(笑)。

―ダンススポーツは「ブレイキン」が2024年のパリ五輪の競技に採用された

咲菜 「スタンダード&ラテン」もいづれ五輪種目になってほしいです。夢がすごく広がりますし、次の世代の子たちの目標ができればと思います。

―富山県の東洋大学卒業生に伝えたいことは



気さくに写真撮影に応じる2人

YouTube、X(旧twitter)、Instagram
すべて
「大西大晶」「大西咲菜」で検索



その後の大西ペア

南水会総会翌日の7月9日、富山市総合体育館で開かれた国内トップレベルの大会「ダンススポーツグランプリin富山」スタンダード部門で優勝しました。10月21、22日に東京体育館で開かれた「第43回三笠宮杯全日本選手権」スタンダード部門では2年ぶり2度目の優勝を果たしました。ラテン部門は準優勝でした。日本ダンススポーツ連盟の全日本GDランキング(11月8日)では、スタンダード部門で2位、ラテン部門で1位となっています。



呉西会

2月18日(土) 10月28日(土)

約4年ぶりに呉西会 18人が親交深める

県西部ゆかりの校友でつくる呉西会は2023年2月18日(土)、高岡マントンホテル駅前内「カジュアルダイニングBon」で懇親会を開催しました。新型コロナウイルスの影響で2019年5月以来、約4年ぶりで18人が出席しました。山尾友一会長(昭和49年法律)は「2021年に何度も会を開こうと思ったが、そのたびにコロナの感染者数が増えて断念した。ようやく開催できた」とあいさつしました。懇談の途中、18人全員が近況報告や自己紹介を行い、世代や業種の垣根を越えた交流が盛んに行われました。



終盤には全員で校歌を斉唱

山尾会長が退任へ 後任に高畑さん

10月28日(土)、御旅屋セリオ7階「レストラノD.U.O」で秋季懇親会を開催しました。相撲部出身の若手3氏を含む、昭和34年から平成27年卒までの21人が出席し、終始和やかに懇談しました。会の終わりに山尾会長が「私は呉西会長を9年間務めた。後任は2月の開催時にリーダーシップを発揮され、社会的な信用も大きい高畑さんが適任と思い相談したところ、快く引き受けていただいた」と述べて



今期限りで退任を表明した山尾会長



抱負を述べる高畑次期会長

今期限りで退任する意向を示しました。高畑務さん(昭和55年法律)は「参加して良かったと思える楽しい会にしたい。きょうの21人が仲間に声を掛けて、次回は30人になればいい」と抱負を語りました。このあと本江真祐美(昭和53年経営)副会長と縄井恵美さん(平成2年短英文)が山尾会長に花束を贈り「これから呉西会を見守ってください」とねぎらいました。



サプライズで花束を贈った本江さん(左)と縄井さん(右)

レディース会

10月14日(土)

高岡の伝統美 弾む乙女心

秋晴れに恵まれた10月14日(土)、レディース会を開催しました。今年の訪問地は高岡です。

最初に訪問した武蔵川工房では、武蔵川義則さん(昭和47年経営)から、螺鈿の歴史や工程を説明いただいた後、同じく螺鈿師の息子さん夫婦の細工作業を見学しました。新設されたギャラリーではたくさん作品を見学しました。光の反射や見る角度で虹色の輝きが変化する螺鈿細工は、息をのむものばかりでした。「今日ばかりは少しだけ贅沢しようかしら」と、みんな小物やアクセサリーなど、思い思いの品を購入しました。

ランチをはさみ、午後は山町筋へ。高岡御車山会館では豪華絢爛な御車山を見学しました。「平成の御車山」には武蔵川さんの螺鈿細工も施されており、金工・彫刻・漆工・染織など装飾の美しさに圧倒されました。その後、観光ボランティアの方の案内で、土蔵造りの町並みと特徴的な家屋や建物を見ながら散策しました。

少しの時間でしたが、高岡の歴史、風情ある景色、伝統工芸を十分に味わった一日になりました。「黎明」を読んでくださったレディーの皆さん、次回は高岡再訪、新湊内川を予定しています。興味のある方は気軽にご連絡下さい。また、校友会ブログでもご案内します。ご参加をお待ちしております。



「平成の御車山」前で



「どれもステキで迷ってしまいます…」



武蔵川工房ギャラリーにて

東洋大学校友会HP
富山県支部ブログ



【お問い合わせ】

東洋大学富山県支部
縄井 恵美
(平成2年短英文)

☎090-1396-3762

第27回 東都大学OB
交歓ゴルフ大会 10月14日(土)

団体戦奮起の2位 個人戦6人が10位以内

第27回東都大学OB交歓ゴルフ大会は10月14日(土)、富山カントリークラブで行われました。東洋大は団体戦で7チーム中2位となりました。専修大が2年ぶり10度目の優勝を果たしました。

大会には7大学の卒業生計83人が参加し、18ホールストロークプレーで競いました。東洋大は12人が参加し、個人戦では大野政治さん(平成10年建築)が神通薬師コースで2位となったのをはじめ、計6人が各コース10位以内に入り、2016年以来7年ぶりとなる団体戦2位に貢献しました。1997年の大会発足の中心となったのは東洋大でした。次なる目標は2008年の第12回以来遠ざかっている団体戦優勝です。「名門復活」に向けて、ゴルフ好きな校友の参加を心待ちにしています。



団体戦2位と奮起した東洋大メンバー



反省会は今回も一番鳥にて

会員だより

自分の可能性を探りたい

廣田 安正(平成30年健康栄養)

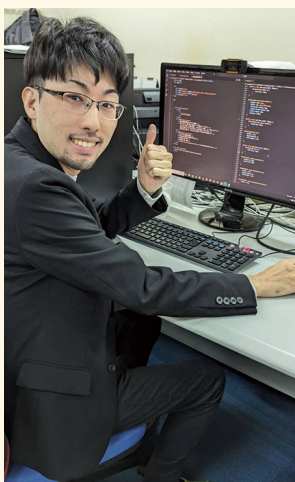


平成30年に卒業した廣田安正です。私は板倉キャンパスの健康栄養学科に在籍していました。ここでは管理栄養士になるための勉強に取り組んでいました。学内では実験や実習が日常的に行われ、また大学3年生以降は病院や保健所でも実習を行い実践的なスキルを身につけました。

そして、私の大学生活は国家試験が大学4年生の3月にあり、その時の緊張感や苦労は今でも鮮明に覚えています。しかし、その努力が実り、管理栄養士の資格を取得することができました。

現在は、ホームページの作成に携わっています。学生時代に学んだ栄養学とは全く異なる業種での仕事ですが、意外なところで接点があり、驚きの連続を体験しています。ホームページ制作の仕事を通じて、コミュニケーションやデザインのスキルを磨くことができ、それが私の専門知識と組み合わせることで、新たな価値を生み出すことができると実感しています。これからも異なる分野の知識と経験を広げ、自身の可能性を追求していきたいと思っています。

ネット周りで困りごとがあれば是非ご相談ください！



富山市の株Nan NaruでWEBコンテンツの制作に励む廣田さん

喜寿になつて思う事

杉下 喬(昭和45年応用社会)



9月24日で76歳になった。今年は所謂、喜寿だ。16年前の定年の日に「これからは好きな事だけして生きてやる」と心に決めた。3反の田んぼと少々畑作業の他は全く自由だ。身体だけは自信があった。先ず始めたのが釣り。春になれば雪どけを待ってイワナ釣り、新緑の頃は有峰や万波で溪流釣りと山菜採り。夏は神通川で鮎。毛針、友釣りとも結構奥が深くて難しいが程々の釣果はあった。秋はキノコ狩り、冬はスキーとボケ防止の麻雀。非常に充実した毎日だった。ところが63歳で大腸ガンを患い、その後、脊柱管狭窄症や腸閉塞などで入院。年々心身の衰えを実感する様になった。ここ数年、山や川へは殆ど行っていない。そして2年前、老人性うつになり、去年から田んぼも止めた。「歳をとるってことはこういう事なんだ」としみじみ思う今日、この頃だ。



自宅そばの畑でネギの土寄せを行う杉下さん。田んぼの管理を人に任せただけで、うつ症状は改善したとのこと。「すぐ近くにクマが出るようになったよ」

白山会ゴルフコンペ

第68回 9月6日(水) 太閤山カントリークラブ **優勝** 大野 和弥 (昭和45年機械工)

令和5年 支部支援会費 納入者芳名

自主財源確保に向けた支部支援会費を納入いただいた方々です。

高木 保二(昭和36年経済)	堀田 良一(昭和37年経済)	種谷美智子(昭和38年英米文)
幡野 政志(昭和41年法律)	渡辺 國臣(昭和42年土木工)	金田 安夫(昭和43年法律)
水上 義行(昭和44年教育)	杉田 欣次(昭和44年法律)	藤田 良久(昭和45年社会)
網谷 公克(昭和50年法律)	本庄 恵子(昭和52年英米文)	前多 悟(昭和52年経営)
本江真祐美(昭和53年経営)	中島 康博(昭和54年経済)	藤縄 耕一(昭和54年商)
宮崎 敦子(昭和55年国文)	柴田 哲人(昭和58年経済)	杉田 俊雄(昭和58年法律)
伊藤 政博(昭和59年経済)	志村 慧雲(昭和60年経済)	早崎 浩行(昭和60年商)
森川 芳一(昭和63年法律)	縄井 恵美(平成2年短大英文)	清見 昇(平成4年応用社会)
玉森 陽子(平成9年経営)	古幡 政博(平成20年メディア)	小竹 裕貴(平成21年経済)

(卒業年順、敬称略)

令和6年の支部支援会費の納入もお願いしております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「新年のつどい」ご案内

恒例の「新年のつどい」を行います。皆様、ふるってご参加ください。懐かしい思い出と共に旧交を温め合しましょう。

- 日 時：令和6年1月14日(日) 12:00～
- ところ：我家的厨房Big5 (富山市新富町1-4-1 51ビル)
- 参加費：男性6,000円 女性4,000円

※令和5年3月卒の校友は無料



お問い合わせは事務局まで



事務局では「黎明」に掲載する原稿を募集しています。事務局までお気軽にお寄せ下さい。お待ちしております。

事務局	森川 芳一	〒930-0221 立山町前沢994-8
		☎076-463-5681
	清見 昇	〒932-0045 小矢部市中央町2-23
		☎0766-67-5506
	小竹 裕貴	〒931-8314 富山市粟島町2丁目3-28-5
		☎076-460-3623

題字によせて

「観想の華」の二番に「護国愛理の金字塔 不滅の城の王者なる 時黎明の鐘なれば……」とあります。「黎明」には夜明け、物事の始まりという意があり、富山県支部会も新たに再出発しようという心意気を表しました。

揮毫は齋藤芳攝氏。